

(様式1)

## 教科用図書調査に関する報告書

教科	図画工作
----	------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
開隆堂	9	図工 101 102 301 302 501 502	ずがこうさく 1・2 上 わくわくするね ずがこうさく 1・2 下 みつけたよ 図画工作 3・4 上 できたらいいな 図画工作 3・4 下 力を合わせて 図画工作 5・6 上 心をひらいて 図画工作 5・6 下 つながる思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で身に付けさせたい資質や能力が「～しよう」などと、めあてが朱書きで強調されており、児童が確認しやすい。</li> <li>・考えたり、選んだり、伝え合ったりする場面を写真と児童の声の吹き出しで表現し、発想・構想の仕方を示している。また、キャラクターを設け、発想・構想のヒントを投げかけている。</li> <li>・学習内容が系統的に配列され、見通しを持って指導できる工夫がみられる。低学年は「絵」、中学年は「工作」の題材数が多い。</li> <li>・「ひらめきコーナー」では、紙を丸める、揉むなど短時間に一人でできる工作が紹介されており、児童の造形意欲を高める工夫がある。</li> <li>・「造形の引き出し」では、道具や用具の使い方がきめ細かに示されている。特に、紙・木版画の制作は、写真とコメントで手順が示され、学習を進めやすくする配慮が見られる。また、題名のつけ方、鑑賞の方法などもあり、造形的なものの見方や考え方を深める補助となる。</li> <li>・タイトル字がゴシック体、本文に丸ゴシック体や明朝体などを使用し、見やすくしている。各ページの写真やコメントに沿って学習を進め、作品の完成につながるように手順が示されている。</li> </ul>

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	図工 103 104 303 304 503 504	ずがこうさく 1・2 上 たのしいな おもしろいな ずがこうさく 1・2 下 たのしいな おもしろいな 図画工作 3・4 上 ためしたよ 見つけたよ 図画工作 3・4 下 ためしたよ 見つけたよ 図画工作 5・6 上 見つめて 広げて 図画工作 5・6 下 見つめて 広げて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りが題材末尾に「安全」「片付け」「感じてほしいこと」の視点で示されている。「～しよう」「～おこう」「～なるね」など学びに向かう力を高める表現となっている。</li> <li>・複数で制作している児童、話し合いをしている児童の写真を取り入れ、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるようにしている。</li> <li>・「ひらめきポケット」では、試しながら形や色をとらえてイメージを広げられるように、身近なものや作品などの写真が示されている。児童の発想のヒントになり創造性をはぐくむ工夫がされている。</li> <li>・「教科書美術館」は、児童のわくわく感を高める図版となっており、感じたことを話したくなるような魅力を感じる。</li> <li>・題材ごとに制作の参考となる児童や作品がつぶやく吹き出しを効果的に使い、児童が造形的なものの見方や考え方を働かせながら学習できるように工夫している。</li> <li>・「使ってみよう材料と用具」は、使い方が丁寧にとめられている。特に、金づち、電動糸のこぎりの使用は、安全で適切な扱いができるよう配慮されている。</li> <li>・中学年の絵の具の色のまぜ方では、児童に分かりやすいように、写真やコメントで具体的に示されている。</li> <li>・学習内容が系統的に配列されている。全学年とも造形遊びをする活動が多く取り扱われている。6 学年を通して同じ材料や用具に繰り返しかかわり、発達段階に合わせて学びを深められるよう工夫されている。</li> </ul>

